

新型コロナウイルス対策 登校ガイドライン

このガイドラインは、感染予防として何をすればよいか、体調不良になった場合にはどうすればよいかを示したものです。体がだるい、熱がある、のどに違和感があるなど、いつも体調が異なるときは、登校せず、自宅にて休養をとりましょう。

● 感染予防のポイント

毎日の健康管理と手洗い・マスク・3密を避けるなどの基本的な感染防止対策を徹底する

① こまめな手洗い・手指消毒

Point:共用物に触った後、食事の前後、公共交通機関の利用後などは必ず手洗い・手指消毒をすること

② マスク着用の徹底(マスクの正しい着用)・・・品質の確かな、できれば**不織布製のもの**を着用

Point:マスクの着用は、鼻にすき間なくフィットさせることが重要

③ 3密(密接、密集、密閉)の回避

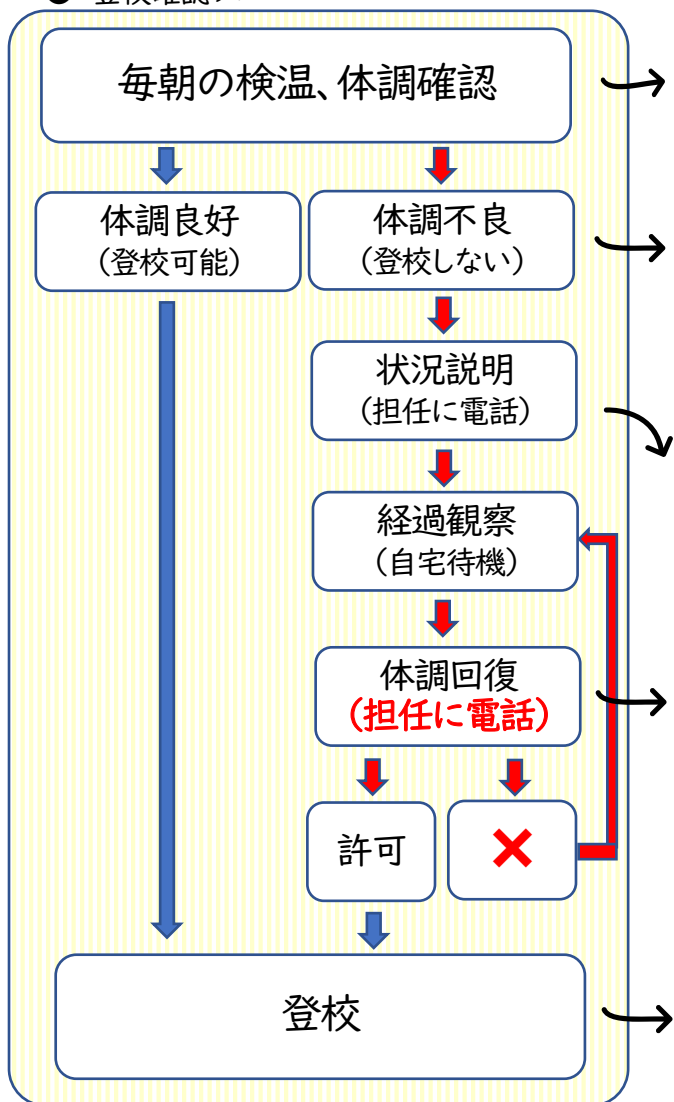
Point:一つの密でも避けて、「ゼロ密」を目指すこと/特に人と人との距離は十分に保つことが大切

おしゃべりする時間は出来る限り短くし、大声は避ける/今まで以上に、換気を行うこと

● 変異株に対応するための感染対策

変異株は、強い感染力を有しています。マスク着用、手洗い、3密の回避など、基本的な感染対策の徹底をしてください。また、ワクチン接種後も感染する可能性がゼロではありません。誰もが感染する、他人を感染させる可能性がありますので、自分だけではなく、周りの命を守る意味でも、これまで以上に感染対策を徹底しましょう。

● 登校確認フロー



■毎日の健康観察
毎朝、検温や健康チェックを行い、AM8:30までに **Forms に投稿**すること!
(発熱の目安は通常、**平熱に+1.0°C以上**で、体調面も辛くなります)


■体調不良場合(登校しない)
発熱等の風邪症状があれば登校せず、自宅待機し学校に連絡しましょう
以下の症状が見られる場合、それが治まるまでは登校禁止(出席停止)です
改善が見られなければ、かかりつけ医に電話して受診するようにしましょう
・発熱や風邪の症状がある
※息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、速やかにかかりつけ医や新型コロナ相談センター(保健所)へ相談し、その指示に従うこと

必ず連絡

■連絡先電話番号
辻調理師専門学校 代表電話 06-6624-1101
・「クラス、出席番号、氏名」を伝え、担任につないでもらう
・担任が不在の際は用件を伝える

■経過観察中
・学校を休んで休養している間は、毎日状況を担任に報告すること
■体調が良かった場合
・担任に連絡して、登校できるかを確認してください

【PCR検査を受ける・濃厚接触者に特定された場合】
・必ず学校に報告して対応を確認する。併せてこのFormsにも入力⇒
・もし陽性となった場合、保健所や医師の指示に従い、学校にも報告する。

報告フォーム 

■学校でのルール
・入館時や教室の移動の際はその都度、アルコール等で手指や施設を消毒
・教室では、入口や窓を開けて換気します
・学校内ではマスクを着用しましょう
・昼食時や試食の際(マスクを外す場面)は私語を控えましょう

【学内や学校近辺で新型コロナウイルスの感染が認められた場合】

- ・学生や教職員が感染した場合や、感染拡大による休校要請が出た場合、急に休講や学級閉鎖となることがあります。
- ・学校ではスクールコンシェルジュや Teams、安否メールでお知らせするので、通知を見るようにしておいてください。

以下の資料は、内閣官房 HP「感染リスクが高まる5つの場面 夏の感染拡大防止特設サイト」より掲載

<https://corona.go.jp/proposal/>

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで切り交わされる狭い空間に長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご道では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼ラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



2021年版

感染拡大防止 へのご協力を
お願いします

感染力が強い**変異株**にも、基本的な感染予防策が有効です。
「マスクの着用」や「手洗い」、「3密(密接・密集・密閉)回避」などを徹底してください。



正しく使おうマスク!

会話時は必ず着用!

● 顔の形に合わせて鼻をしっかりと覆う
● あご下まで押し込み、耳紐をしっかりと結ぶ
● 鼻はマスク、あごはマスク、指が外れは触らない
● ひもを持って着脱
● 吐息の強くない、できれば不織布を



**こまめにしよう
手洗い・手指消毒!**

● こんなタイミングでは必ず!
- 共用物に触った後
- 食事の前
- 公共交通機関の利用後 など



目指そうゼロ密!

一つの密でも避けましょう!!

密接 × 密集 × 密閉 ×
マスクがし× 大声× 大人数× 近距離× 換気が悪い× 狭い場所×

■ いつでもマスク

マスクは布やウレタンよりも、不織布の方が効果が高いことが示されています。
すき間のないよう顔にフィットさせ、正しくご利用ください。

マスク着用の主な目的は、会話や咳による飛沫の飛散や吸い込みを防ぐこと。近年の研究では、飛沫を出す側と吸い込む側、両者の距離感やマスクの着用状況、マスクの素材(性能)によっても、防御効果に大きな違いが生まれることが分かっています。

たとえば、スーパーコンピューター富岳によるシミュレーションの結果によれば、マスクの捕集効率率は、布製やウレタン製よりも、不織布素材の方が高いことが示されています。また、鼻の部分に金具がある場合は、折り曲げて鼻に沿って着用するなど、すき間のないよう顔にフィットさせた方が効果が高いことが示されています。

2021年版

ゼロ密を目指そう!
～一つの密でも避けましょう～



密接しない



密集しない



密閉しない

人と会うときは

- 人と**十分な距離**を保つ!
- **混雑している場所や時間**を避ける!
- **オンライン**の利用や**時差出勤**を!
- **屋外でも密接、密集を避ける!**

飲食するときは

- **少人数・短時間**で、**大声は避けて!**
- **ガイドラインを守ったお店**で!(アクリル板の設置、消毒、換気の徹底など)
- **テイクアウト**や**デリバリー**も!

ポイント **会話時はマスクを着用**

※体調不良時の出勤・登校などはお控えください。

以下の資料は、大阪府 HP「第 57 回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 緊急事態措置に基づく要請」より

https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/38215/00406149/2-1_youseinaiyou0818.pdf

● 府民への呼びかけ (特措法第45条第1項に基づく)

- **不要不急の外出※は自粛すること。混雑した場所への外出は半減すること**
 - ※ 医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものについては対象外
 - ※ 特に20時以降の外出自粛、外出する必要がある場合にも、極力家族や普段行動をとともにしている仲間と少人数で、混雑している場所や時間を避けて行動すること
- **重症化リスクが高い40代・50代は、特に感染防止対策を徹底すること**
- **不要不急の帰省や旅行など都道府県間の移動は極力控えること**
 - ※ どうしても避けられない場合は感染防止策の徹底とともに、出発前又は到着地での検査を受診すること。
(府民：法第45条第1項 府民以外：法に基づかない働きかけ)
- **要請に応じず、酒類やカラオケを提供している飲食店等の利用を厳に控えること**
- 路上、公園等における集団での飲酒は自粛すること
- 少しでも症状がある場合、早めに検査を受診すること